

「楽しく作る益子焼」



第1回（11月25日～26日）
「楽しく作る益子焼」を開催しました。
益子焼伝統工芸士の萩原芳雄氏、萩原芳典氏、床井崇一氏を講師として迎え、全4回の日程で行いました。



初日は、陶芸の基本的技術である「土練り」、「芯出し」、「土殺し」を経験し、ろくろ成形及び手びねり陶芸を行いました。



ろくろ成形の様子です。
初めての参加者も、先生方の丁寧な指導のおかげで、茶碗や湯呑みなどを作ることができました。



手びねり陶芸の様子です。
今回のテーマ成形は「ランプシェード」作りに挑戦しました。皆さん完成のイメージを想像して、作業に取り組んでいました。



第2回（12月2日）
作業3日目は、高台削りを行いました。
ろくろで作った作品の形を決める作業です。
皆さん真剣に取り組んでいる様子が印象的でした。



午前、午後に分かれての実習でしたが、限られた時間の中で一人6点の作品の高台削りが無事に終了しました。この後は、素焼きを行ってよいよ釉薬がけです。



第3回(12月16日)
作業4日目は、絵付けや釉薬がけの作業を行いました。本焼き前、最後の工程です。流しがけなど難しい作業にもチャレンジしていました。



第4回(12月23日)
焼き上がった作品の鑑賞会です。自分の作品はもちろんのこと、他の参加者の作品についても熱心に鑑賞されていました。



鑑賞会に続き、茶話会を行いました。陶芸をとおしてできた「つながり」を、さらに深める良い時間となりました。



約1ヶ月に渡る主催事業でしたが、体調を崩される方もなく24名全員で全4回の活動を実施することができました。

長年にわたり陶芸の指導をしてくださった講師の先生方、本当にありがとうございました。